

株式会社緑水亭 環境活動レポート 2008年度



みどり温泉 緑水亭

風がやさしく吹きわたる、湖畔のリゾート

【緑水亭環境方針】

「環境理念」

顧客満足の精神

感謝報恩の精神

地域発展の精神

利益貢献の精神

我々は琵琶湖のほとりに位置する宿として、お客様第一主義をつらぬき、すべてのお客様、取引先に感謝し恩に報いることを貫きます。また事業の地盤であるおごと温泉を含む滋賀の地域発展に貢献する事業活動を行い、利益を社会やお客様のために役立てるように誓い、以下の環境方針に基づいた環境保全活動に取り組みます。

「環境方針」

1. 我々は、宿泊者、来訪者への飲食、宿泊等の事業活動において、琵琶湖の地域環境を保護の観点を持ち、取り組みます。
2. 我々は、環境マネジメントシステムの継続的環境改善及び、汚染の予防を行います。
3. 我々は、環境側面に関係して適用可能な環境関連法規及び我々が同意するその他の要求事項を順守します。
4. 我々は、省エネルギー、廃棄物の削減などの環境目的目標を定めます。環境配慮型製品の購入を重点課題とします。
5. 我々は、組織で働く者及び業務を委託する事業者に、我々の環境方針及び環境活動を周知します。
6. 我々は、環境方針を文書化し、一般の方が入手できるようにホームページ上に公開します。

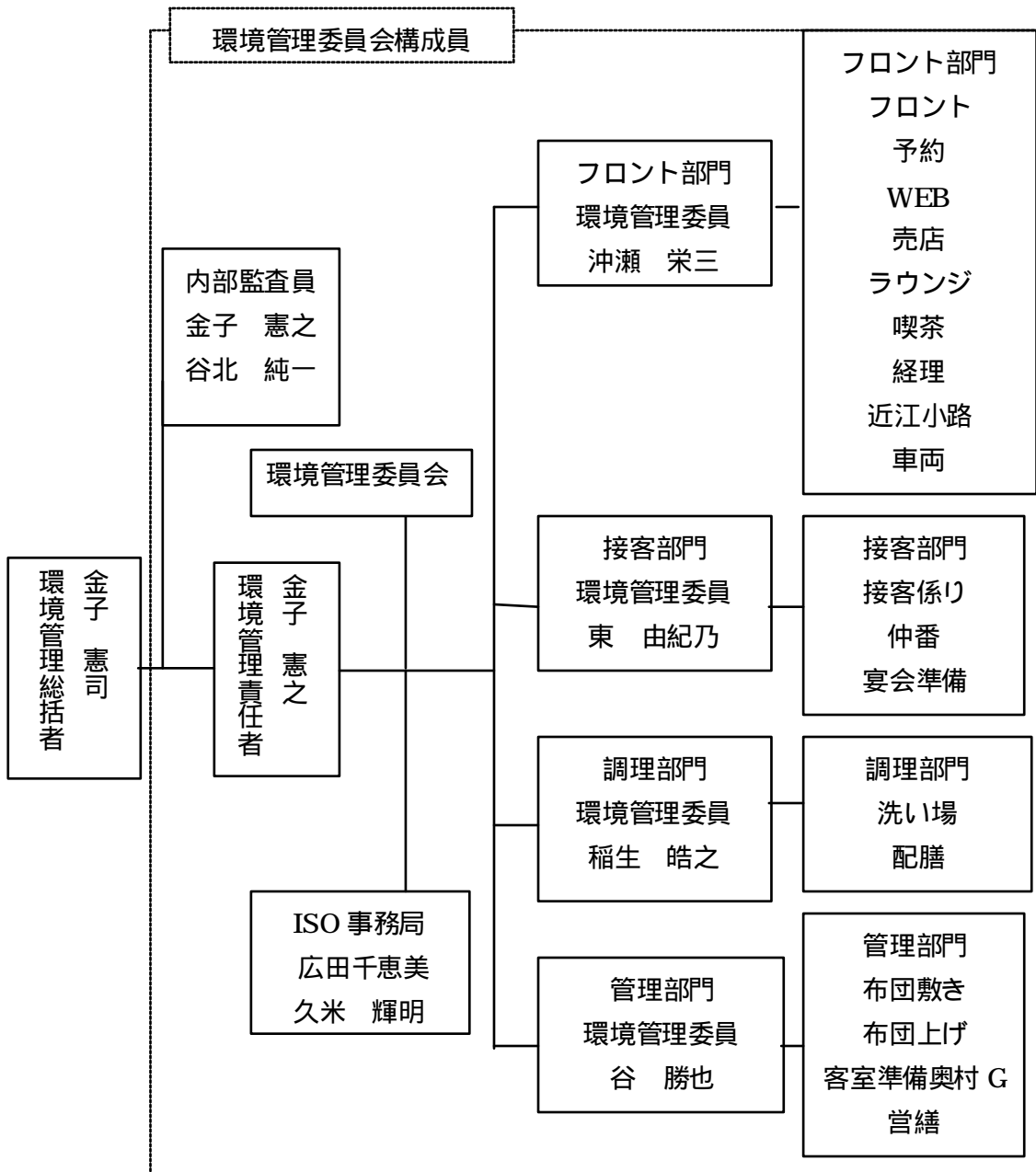
株式会社緑水亭（びわこ緑水亭）

代表取締役 金子憲司

会社概要

会社名 : 株式会社緑水亭
 所在地 : 滋賀県大津市雄琴 6-1-6
 事業内容 : 旅館業その他関連する事業すべて
 代表取締役 : 金子 憲司
 資本金 : 70,000,000 円
 従業員数 : 98 人 8時間換算
 敷地面積 : 6,480 m²
 延床面積 : 9,389 m²
 沿革 : 平成 8 年 5 月会社設立
 平成 17 年 11 月新館びわの風オープン

・ 環境活動の取り組み体制



・認証取得内容

ISO 14001取得

登録番号 EC06J0061

取得日 2006年7月10日

・環境活動の内容と実績

2008年度環境改善活動実績 2008年1月1日から2008年12月31日

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
ガス 2006年度 売上実績対比 4%削減	スイッチ適性管理 老朽設備機器の修繕	-4%	-5.3%	A
電気 2004年度 売上実績対比 4%削減	スイッチ適性管理	-4%	-9.9%	A
廃棄物 2006年度 売上実績対比 3%削減	ゴミ分別の徹底 リサイクル業者の選定 観光バスのゴミ削減の呼びかけ	-3%	-31.9%	A

・具体的環境活動のご紹介

電気・ガススイッチチェックリスト

フロントで電気・ガスのスイッチに色別シールを貼って管理しています。シールの色事に on/off の時間を設定して、できているかどうかをチェックしています。

客室の露天風呂に蓋をするようにしました。

当館では、全70室中32室が露天風呂付き客室になっていて、温泉を循環させることで常時湯が沸いている状態になっています。そのため、燃料になっている都市ガスの使用量が多いです。このたび設置しました蓋により、湯の温度の低下を防ぎ、ガスの使用量を減らすつもりです。



全社員環境教育（4月・10月）

ISO14001 取得後毎年行っています環境自覚教育ですが、今年は4月にアメリカゴア副大統領の環境映画「不都合な真実」のビデオ、10月にも「躰で5Sを習慣づけしよう」のビデオを見て勉強しました。受今年も全従業員約150人がビデオを見て感想文を書いてくれました。

・環境関連法規制の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を毎年4月に確認し、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はありません。

・2008年度活動の評価と今後の課題

2008年で環境活動を始めて3年がたちました。ISO14001のマニュアルでは3年を1サイクルとするようにしていますので、1サイクルが終了したことになります。3年が経ち、やる気のある部門とそうでない部門との差がでてきたように思います。目標をその部門にあってもものに設定できないと、達成感も薄く関わりを感じにくいような気がします。次年度からは新たな目標を設定し全社員一丸となって目標を達成できるような仕組みづくりも構築していきたいと思います。目標については、削減する目標ばかりとなっていますので、環境に対して増やしていく目標も設定していく必要があると思います。

・第3者の証明・意見

審査機関の証明

株式会社緑水亭様のEMSは、初回認証以降3年間にわたり、経営者と要員の一体となった取り組みにより、システム、パフォーマンスなどの継続的改善がなされていることを確認できました。尚、事業経営と利用者等にとってもより有効なEMSとするために、改善の余地が6件確認されていますので、積極的なアクションを期待します。

JACO 審査チーム 冷泉 為弘
赤尾 彰夫